



家族とはなんだろう…

おおぐち男女共同参画懇話会が中央公民館で映画会「彼らが本気で編むときは、」を上映しました。

映画は、LGBT（性的少数者）への差別や偏見、性別変更、結婚の問題を描いている内容で、血のつながりが家族ではなく、心がつながっている家族が一番大切ということや、伝えたくて催したという映画会に「家族愛が心にしみました」と参加者。

1 / 18
土



介護予防研修会

介護事業所の職員を対象に、介護予防研修会がおこなわれました。

さくら総合病院理学療法士 磯村隆倫さんを講師に迎え、高齢者に多い「転倒」の原因と対策について学び、参加者は熱心に意見交換されました。

転倒予防対策としては、危険箇所に目印をしたり、日頃からスクワットなどの予防運動をすることが効果的との意見も聞かれました。

また、最新の車いすや歩行器も体験でき、不足している能力を補つさまざまな工夫に驚きの声も上がりました。

1 / 22
水



知的障がい児・家族が一緒にできることを見つける場！

中央公民館で、障がい福祉セミナー『小学校卒業までに行えること』知的障がいの基礎的理解と支援』をテーマに、31名が参加しました。

講師の花井玲奈さんから、お子さんへの関わり方のポイント、大人になった時に困らないように今からできることを中心にお話をいただきました。多くの質問が寄せられ、保護者の切実な思いに、家庭でできるような提案をしていただきました。「子どもを急かさずに、褒めることの大切さがわかりました」と参加者。

1 / 16
木



中国の小学校との交流会

中国・山東省にある済南市外海実験小学校の児童45名が大口南小学校を訪問しました。

児童は、図書館や授業の様子を見学し、午後の交流会では、実験小の児童が漢詩の朗読と合唱を披露してくれました。また、「里の秋」を日本語と一緒に歌い、南小の5、6年生代表がリコーダーで合奏。最後に中国語でじゃんけんをするなど、言葉は分からなくても、手を取り合って楽しむ姿があちこちで見られました。

1 / 16
木



認知症を知り、徘徊者捜索対応



北地域自治組織主催の「福祉の集い」認知症を知り、徘徊者捜索対応」が下小口学区共で開かれました。大口町も人口の高齢化が少しずつ進んでいます。講座では町内の高齢化率や徘徊高齢者の現状を知り、認知症を正しく理解して、徘徊者を地域で温かく見守ることや、万が一の方不明者が出てしまったときの徘徊者捜索対応の手順を聞きました。大口町では、住み慣れた地域で、いきいきと暮らすことができる社会の実現を目指した取り組みが進められています。

1 / 16
木



憩いの四季まつり&図書館まつり



憩いの四季と図書館が、利用者の皆さんに日頃の感謝をこめて、憩いの四季まつり&図書館まつりを開催し、たくさんの方の家族連れでにぎわいました。憩いの四季（1階）では、子どもから大人まで楽しめる花もちづくりや、パソコン教室の名刺&名前シール作り、まちづくり団体が出展。図書館（3階）の絵本展示コーナー「絵本のキャラクターがパンで飛び出した」では、ぱんや「なかよしよし」が製作したキャラクターソーックリのパンが並べられ、訪れる人の関心を集めました。

2 / 1・2
土 日

